

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾ペインティングス
事業主体 (連絡先)	木曾ペインティングス実行委員会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,453,468 円 (うち支援金: 1,162,000 円)

事業内容

○展覧会イベント

1. [平成29年5月20日～7月2日]

- ・アーティストと美術大学生が滞在制作し1ヶ月間展示。

2. [平成29年6月3日]

- ・木曾義仲旗挙げの地にちなんだ旗挙げプロジェクト、アーティストトーク、OPレセプション。

3. [平成29年6月3、4、24、25日]

- ・アーティストプロデュースの市場プロジェクト。

○ワークショップイベント[平成29年6月22～25日]

- メキシコ・オアハカの木工民芸品作家ハコボ&マリア両氏を招き講演と作品制作。

○中善酒造・七笑のラベルデザイン。



【旗挙げイベント・展示作品】

事業効果

①展覧会やワークショップでは地元住民からの反応もよく、展示作品を残してほしいという要望がでるほどであった。また実行委員会として町や公民館の文化祭に参加するなど地域の文化事業に貢献し存在感を発揮できた。

木曾路美術館では今までの最多入場者数を記録するなど実績を作ることが出来た。

②作家滞在時には地元住民と一緒に会場整理作業を行ったり交流会や各イベントでの交流も盛んに行い、双方にとっていい刺激を与えることができた。新しい地域イベントとして受け入れられる素地が出来た。

③空き家だったユースホテルを作家の滞在拠点として利用し、定期的な往来による過疎地域への新しい人の流れを生み出した。

④初年度では具体的に移住者を促すまでには至らなかったが、作家、都心部の学生、来訪した観光客に新たな活動場所として地域を紹介することができた。今後新しい人の流入には大いに期待できる。

【目標・ねらい】

- ①文化振興
- ②地域づくり
- ③空き家活用
- ④移住対策

※自己評価 【 A 】

【理由】

来訪者こそ見込みにはわずかに届かなかったが概ね予想通りの来町者数であった。各イベントも盛り上がり、地域住民の理解も得られ発展性を確認できた。美術界・来訪者・地元住民それぞれから予想より好評を得られたのでA評価とする。

今後の取り組み

一過性のイベントで終わらないよう引き続き毎年開催を目標に活動を進める。

今後はもっと地元住民への理解を促し、続けることで新しい地域活性の手段になるという認識を深めてもらいたい。

また自主運営で続けられるよう収益活動も広げて行い、地元から協賛を得るなど地域に密着した事業として活動を定着させたい。

文化的事業としてだけではなく、空き家活用や観光など様々な効果が期待できるので効果の幅も考えながら活動を続ける。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある